

(別添1)

令和3年度老人保健健康増進等事業

<介護施設における生産性向上の取組に関するモデル研究事業>

<株式会社日本能率協会総合研究所>

介護現場における生産性向上の取組をより効果的に推進するため、各施設がそれぞれの課題にどのような手順で取り組んでいくのがよいか等についての道標となるように、先行的に生産性向上に取り組んでいる施設等の取組プロセスを収集・確認し、施設の特性等を踏まえた整理や分析を定量的・定性的に行うことによって、取組の過程を類型化し、モデルとして示すことを目途として取り組んだ。

【事業概要】

1. 検討委員会の設置・運営

有識者、施設団体等5名で構成(委員名簿参照)する委員会を設置し、年度内に3回の委員会を開催した。

2. アンケート調査の実施・分析

介護施設の生産性向上の7つの取組※について、どのような順番でどのような取組を行っているか実態や、取組に際しての目標設定・成果把握の有無等についても把握すべく調査を実施し、分析した。これにより、取組のパターンを把握して4つの類型化を行い、それら施設の特徴を施設属性等の観点等から明らかにした。なかでも成果が上がっているとされる施設については、次に実施するヒアリングの対象候補とした。

3. ヒアリングの実施・分析

アンケート調査で明らかとなった4つの類型化(パターン)に対する定性的確認として実施した。ヒアリングにおいては、取組の背景やプロセス、また取組を円滑に進めるための工夫や困難への解決策などについて定性的に確認して類型化、モデル化のための情報を補完し、同時に、生産性向上のための取組推進や成果を上げるために留意すべきポイントなどについても情報を収集し整理を行った。

4. 類型化/モデル化の検討

アンケート調査とヒアリング調査の結果をもとに、類型化に際し、アンケート調査の結果から、まず時系列でみた取組について、取り組んだ順番のパターンを確認した。その中で、比較的、取り組んだ施設が多いパターンのうち、効果が出ている施設が多いものを抽出して分析を実施した、またモデル化検討においては、さらにヒアリングでの定性的情報を含めた分析を行い、これら対象となる施設(特養)の生産性向上のための取組についての類型化/モデル化を実施した。